

# 太田川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～水の都ひろしまを守る流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した  
河川の整備（見込）



整備率：87%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



6市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



13施設

（令和2年度末時点）

山地の保水機能向上および  
土砂・流木災害対策



治山対策等の  
実施箇所

6箇所

（令和3年度実施分）

砂防関係施設の  
整備数

3箇所

（令和3年度完成分）

立地適正化計画における  
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための  
ハザード情報の整備



洪水浸水想定  
区域

12河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定  
区域

2団体

（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実  
効性の確保



避難確保  
計画

洪水 1,088施設  
土砂 973施設

（令和3年9月末時点）

個別避難計画

4市町村

（令和4年1月1日時点）

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ○貯留管等の整備（広島市）

床上浸水被害の解消・軽減を図るため、貯留管（雨水幹線）及びポンプ施設の段階的な整備を行います。

貯留管の整備後は、10年確率降雨（53mm/h）の雨に対して、約7割の浸水被害を軽減する効果が見込まれます。

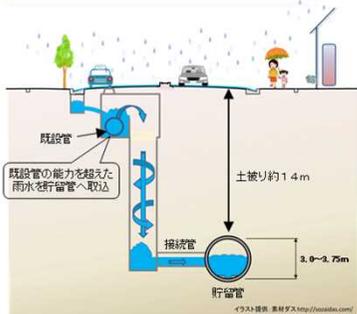
#### 整備メニュー

- 吉島雨水3号幹線（管径3,000mm）
  - 吉島雨水2号幹線（管径3,750mm）
  - マンホールポンプ
- 短期 整備完了予定箇所



吉島地区

#### 貯留管整備のイメージ図



## 被害対象を減少させるための対策

### ○立地適正化計画の作成・運用（広島市、府中町）

立地適正化計画制度は、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、公共交通によるアクセスの利便性が高い区域に居住機能や都市機能を誘導するエリアを設定して、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりに向けた取組を推進しようとするものです。

・広島市

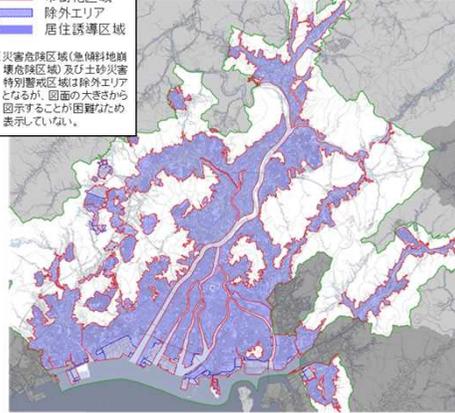
平成31年1月に立地適正化計画を作成しており、そのうち居住誘導区域については災害危険区域や土砂災害特別警戒区域を除外した区域としています。

・府中町

今後、立地適正化計画の作成に向けて検討中です。

- 凡例
- 都市計画区域
  - 市街化区域
  - 除外エリア
  - 居住誘導区域

#### 【立地適正化計画作成事例：広島市】



【居住誘導区域】

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### ○マルチハザード対応の 多機関連携型タイムラインの推進 （国土交通省、広島県、広島市、府中町、安芸太田町）

洪水、高潮、土砂災害のハザード別のステージ毎に関係機関がとるべき項目がわかるようタイムラインを作成しました。令和元年度から試行運用を実施し、毎年、出水後に運用実績に基づき振り返り、課題があれば改善を行っています。



#### マルチハザード対応の 多機関連携型タイムラインの策定

